

乳腺外科

【研修受け入れ可能期間】

1～6 か月（4～24 週）で設定することが可能である。

1～2 か月（4～8 週）の研修期間を基準とする。4 週以下の短期間でも希望があれば対応する。

【研修目標（GIO）】

女性の癌罹患率第 1 位である乳癌を中心とした乳腺疾患の診断と治療を学ぶことを目標とする。臨床医として必要な外科的知識、技能、態度を身につける。チーム医療の一員としての行動ができるようにする。

【行動目標（SBO）】

●研修期間 1～2 か月

- ・ 患者と良好な人間関係を確率することができる
- ・ 問診と病歴・家族歴の取り方を習得する
- ・ 適切な診断法の理解と体得
マンモグラフィ
超音波診断
CT
MRI
骨シンチグラフィ
細胞診
針生検
吸引式組織生検
リンフォシンチグラフィ
- ・ 治療法を理解する（EBM、ガイドライン、取扱い規約）
病期分類
病理診断の理解（レポートの読み方）
手術療法
薬物療法（化学療法・内分泌療法・分指標的治療）
放射線治療
- ・ 外来診療の見学
実際の診断までのプロセスを見学する
癌告知や治療法の説明の場面に立ち会う
- ・ 手術に助手として参加する

乳房切除術

乳房部分切除（乳房温存術）

センチネルリンパ節生検

腋窩リンパ節郭清術

- ・ チーム医療の一員としての役割を理解する

多職種カンファレンスへの参加

リハビリテーションや緩和チームとの連携

外来通院化学療法

- ・ 一般外科の手技を習得

糸結び

縫合

結紮・止血

清潔不潔の概念と消毒法

皮下注射

切開

術前術後管理

- 3ヶ月以上の研修の場合、上記に加え、より積極的な研修を目標とする。

- ・ 指導医とともに原発性乳癌患者を受け持ち、診断や治療計画を立て、カンファレンスでプレゼンテーション出来る。術後においては退院計画を立てられる様になる

- ・ マンモグラフィの読影が出来るようになる

- ・ 超音波検査を指導医とともに施行する

- ・ 再発患者の治療に携わり、治療法の立案ができるように知識を深める

- ・ 他科へのコンサルトが出来る

- ・ チーム医療の一員として積極的に行動する

- ・ 乳房・腋窩の解剖を理解し、術者として乳房切除を行うことを目標とする

- ・ 学会発表を行う

【週間スケジュール】

	午前	午後
月	朝回診・外来	手術・通院治療室カンファレンス・夕回診
火	朝回診・外来	外来・検査・乳腺外科カンファレンス・夕回診
水	朝回診・手術	手術・夕回診
木	朝回診・外来	外来・検査・病棟カンファレンス・夕回診
金	朝回診・外来	外来・検査・夕回診

【指導体制】

日本乳癌学会の認定する乳腺専門医・指導医の資格を有する 2 名による指導体制で研修を行う。

【評価方法】

- ・ 指導医による各到達度目標に対する評価
- ・ 研修医本人による各到達度目標に対する評価